

1

2 **作品に登場する印象的なアイテム・小物・設定・プログラム・街並み**などを
「味方側」「敵側」「その他」3つのカテゴリに分けて詳細にまとめます。

3

4

5 ---

6

7 # **設定集：味方側アイテム・小物・設定**

8

9 ## 1. **オフィス&チーム関連**

10

11 ### (1) **本社オフィスの“セキュリティゲート”**

12 - **概要**: 入口に設置された自動顔認証の改札機。社員証にICチップが埋め込まれていて、本人＋顔認証の二重確認をする。

13 - **特徴**:

14 - **ディスプレイパネル**に社員名と部署が表示される。

15 - 外来者用のQRコード認証機能もあり、「ID貸し借り」はNG。

16 - 第1話冒頭で、新人(橘&白石)が緊張しながら通過する描写がある。

17 - **物語上の演出**: 「最先端企業」という印象付け、**セキュリティ意識の高さ**を示す。後に不正侵入の伏線に使える可能性も。

18

19 ### (2) **チーム専用ミーティングルーム “Lab-1”**

20 - **概要**: チーム（CIPHERや月城、橘、白石、鹿島）がよく使うガラス張り会議室。

21 - **設定細部**:

22 - **壁一面のホワイトボード**: 付箋やマーカーでプロジェクト進捗を管理。

23 - **大型スクリーン**: ノートPCを無線で繋げる機能。DX関連のプレゼン、セキュリティログの分析など多目的に使用。

24 - **小ネタ**: ラボの入り口に「アイデア歓迎」と書かれた小さな張り紙がある。

25 - **物語での活用**:

26 - 序盤→ワクワク感のある打ち合わせ風景、技術解説シーン。

27 - 中盤以降→緊急ミーティングの舞台。

28

29 ### (3) **月城が愛用する“量子暗号ノートPC”**

30 - **概要**: ビジュアル的には一般PCだが、月城が「量子鍵配送の研究者と共同開

発した試作品」と説明するオタクっぽい設定。

31 - ****具体的要素****:

32 - ****本体カラー****: 黒×メタリックブルー。

33 - ****OS起動画面に特別な暗号化表示****。起動時にシャレたブート画面があり、キャラたちが「おお...さすが月城先輩」と驚く。

34 - ****物語的效果****:

35 - 専門性・最先端感。

36 - 7話～8話で量子暗号の実践がチラ見えする伏線。

37

38 **### (4) **白石の“手帳型タブレット”****

39 - ****概要****: 白石が「文系出身でもIT業界を楽しめる」象徴として持ち歩くアイテム。書き込みメモとタブレット機能を融合。

40 - ****特徴****:

41 - ****表紙が和柄テイスト****（祖父の和菓子店のロゴが小さく入っている）。

42 - メモアプリと心理分析ツールを連携し、顧客や同僚の心理・要望を可視化できる。

43 - ****物語での利用****:

44 - 第2～3話: スタートアップ企業へのヒアリングで活躍。

45 - 中盤(6話): 鹿島の挙動をメモして疑念を深める。

46 - 終盤(9～10話): チームの状況把握に使い、サスペンスを補助。

47

48 **### (5) **橘の“カスタム開発用ノートPC”****

49 - ****概要****: 橘が大学時代から愛用している自作PC。

50 - ****特徴****:

51 - ****ステッカー多数****(ハッカソン優勝ロゴや大学祭エンジニアリング部のマークなど)。

52 - GPU性能を強化し、AI解析にも対応可能。

53 - カバー裏に小さなサイン「Tachibana's Lab」と手書きしてある。

54 - ****物語の利用****:

55 - ハッキング対策・プログラミングで活躍。

56 - 物語中盤～終盤(7～10話)で大きなシステム解析に使う描写がクローズアップされる。

57

58 **### (6) **社内カフェスペース “Byte Café”****

59 - ****概要****: 本社フロア内にある小さなカフェコーナー。バイオーム(植栽)が置かれ

リラックスできるデザイン。

60 - ****ポイント****:

61 - 多くの社員が軽い打ち合わせや息抜きに利用。

62 - 白石がここでこっそり鹿島の様子を観察→裏切りの伏線を感じたり、橘と雑談し成長を語ったり。

63 - ****小ネタ****:

64 - コーヒーマシンがIoT対応で、月城が「アップデートが必要ね」などと語って軽くギャグシーンになる。

65

66 ---

67

68 **## 2.2 **ITツール・プログラム (味方側)****

69

70 **### (1) **ローコード/ノーコード開発プラットフォーム “QuickForge”****

71 - ****概要****: 1〜2話で和菓子店ECサイト構築に使われるローコードツール。

72 - ****詳細設定****:

73 - GUIでドラッグ&ドロップしてWebアプリを作れる。

74 - プラグインが豊富。決済や在庫管理など一瞬で実装できる半面、セキュリティは標準レベル。

75 - ****物語演出****: 新人たちが「初心者でも作れるなんて!」と喜ぶ反面、不正アクセス脆弱性があったなど矛盾も描かれる。

76

77 **### (2) **AI解析プログラム “DeepScout”****

78 - ****概要****: 橘が大学で発表したモデルを改良し、会社でのAI支援プロジェクトに活用する。

79 - ****特徴****:

80 - 統計データを瞬時に可視化。ビジネス提案やマーケティングにも強い。

81 - 第3話あたりでベンチャー企業のAI開発と統合しようとするが、そこにスパイ行為が絡む。

82 - ****関連ドラマ****:

83 - 橘の才能が認められる契機。

84 - 後に敵がこのコードを狙う形でサスペンスへ発展(5〜6話)。

85

86 **### (3) **社内コミュニケーションツール “TeamUp”****

87 - ****概要****: SlackやTeamsをモデルにしたチームチャット。

88 - ****演出要素****:

- 89 - 画面越しにチームメンバーのやり取りが多発→スピード感ある開発現場を演出。
- 90 - 鹿島の行動が深夜に不自然なログを残していた...など伏線に利用。

91

92 **### (4) **緊急セキュリティ監査ソフト “ShieldSense”****

- 93 - ****概要****: 中盤以降(4話〜)でCIPHERが導入を提案。サーバーログとネットワーク挙動をAIが学習し、不審アクセスを自動検出する。

94 - ****物語的機能****:

- 95 - 鹿島の裏切りを示すログを最初に検出。
- 96 - 終盤(9〜10話)で国家レベルの攻撃に対して“部分的対応”を可能にし、ストーリーを盛り上げる。

97

98 ---

99

100 **## 2.3 **街並み・舞台(味方サイド寄り)****

101

102 **### (1) **老舗和菓子店 “白石堂”****

- 103 - ****概要****: 白石(主人公の一人)の祖父が営む創業百年の店。

104 - ****設定深度****:

- 105 - 店先に大きな暖簾。木造の古い佇まいで、ケースには季節の和菓子がずらり。
- 106 - バックヤードで在庫管理が手書きの帳簿...というギャップがDXテーマのきっかけ。

107 - ****物語的役割****:

- 108 - 第1〜2話でEC化を行う案件。後に不正アクセス・データ改ざんが発生。
- 109 - 白石のルーツ。作品を通して“日本らしさ”を象徴する舞台。

110

111 **### (2) **スタートアップ街区 “Tech Valley District”****

- 112 - ****概要****: 都心部の一角にある再開発地域。ガラス張りのオフィスビルやカフェ、コワーキングスペースが立ち並ぶ。

113 - ****特徴****:

- 114 - ベンチャー企業が集まり、アジャイル開発やAI研究を行う小規模オフィスが点在。
- 115 - ストリートには電動キックボードが走り、ビジョン広告が多く近未来感。

116 - ****物語使用****:

- 117 - 第3～4話でAI開発ベンチャー“Next Frontier”とのやり取りを行う舞台。
- 118 - 攻撃やスパイ行為により、一帯がハッキング騒動で浮足立つ描写。
- 119
- 120 ### (3) **本社ビル周辺 “Sky Innovate Tower”**
- 121 - **概要**: 味方側の企業が入る高層ビル。30階建て。
- 122 - **ビジュアル**:
- 123 - 外壁が全面ガラス。夜になるとロゴが光る。
- 124 - 1～2階に飲食店フロア、会議室は20～22階など。
- 125 - **エピソード**:
- 126 - 第2話等、深夜まで残業するときに外から見た夜景が印象的。
- 127 - 最終盤(7～8話)で鹿島がこっそり侵入するシーン(裏切り直前)などにも使える。
- 128
- 129 ---